

戦略的国際脳科学研究推進プログラム（国際脳）実施課題

研究開発課題名	委託先機関名	研究開発代表者	
		役職	氏名
【研究グループ1】健常から疾患に至る脳画像等の総合的解析研究			
1-①. MRI脳画像の撮像や臨床データの取得と、その解析による精神・神経疾患（認知症、発達障害、気分障害等）の発症メカニズム解明等			
国際MRI研究連携によるAYA世代脳発達および障害のメカニズム解明	国立大学法人東京大学	教授	笠井 清登
国際連携による成人期のお気分障害と関連疾患の縦断的MRI研究	国立大学法人広島大学	教授	岡本 泰昌
先進的MRI技術に基づく総合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	部長	花川 隆
1-②. MRI脳画像データ等プラットフォーム			
人生ステージに沿った健常および精神・神経疾患の統合MRIデータベースの構築にもとづく国際脳科学連携	国立大学法人東京大学	教授	笠井 清登
【研究グループ2】ヒト脳と非ヒト霊長類脳の種間比較研究			
マルチスケール脳回路機能解析プラットフォームの構築～回路操作と機械学習を活用した種間双方向アプローチ～	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	主幹研究員	平林 敏行
マルチモーダル神経画像による比較霊長類脳コネクトーム	国立研究開発法人理化学研究所	チームリーダー	林 拓也
高磁場MRIを用いたマウモセット・マカク・ヒトの種間比較に関する研究開発	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	教授	定藤 規弘
【研究グループ3】人工知能（AI）研究との連携によるニューロフィードバック等の技術開発とその応用等			
3-①. AI技術を活用したニューロフィードバック等の技術の開発とその応用等			
脳科学とAI技術に基づく精神疾患の診断と治療技術開発とその応用	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	所長	川人 光男
3-②. 次世代AI調査と基盤技術開発			
非線形動力学に基づく次世代AIと基盤技術に関する研究開発	国立大学法人東京大学	教授	合原 一幸

（平成30年6月1日現在）